

2023年度第1回全国てんかん対策連絡協議会:2023-7-23

## てんかん診療支援コーディネーターの 活動報告と課題

浅ノ川総合病院 てんかん診療支援コーディネーター  
中野久美 美作佳代子 山本一貴

### 厚生労働省の規定する てんかん診療支援コーディネーター要件

1. 精神障害福祉に理解と熱意を有する
2. てんかん患者およびその家族に対し、相談援助を適切に実施する能力を有する
3. 医療・福祉に関する国家資格を有する
4. 関係機関（精神保健福祉センター、管内の医療機関、保健所、市町村、福祉事務所、公共職業安定所等）との連携・調整の業務を担う
5. 全国拠点機関との連携を図り、情報を共有するとともに、全国拠点機関の求めに応じ協力を努める

てんかん地域診療連携体制整備事業2019年度 全国拠点機関報告書から

# 活動報告

- ▶ 相談支援および助言：仕事・各種免許・てんかんと  
の付き合い方・将来への不安等
- ▶ 自立支援医療制度の紹介
- ▶ 精神障害者保健福祉手帳制度・障害年金の紹介
- ▶ 電話相談
- ▶ てんかん市民公開講座・地方会への参加
- ▶ 新規コーディネーターの勧誘

## 浅ノ川総合病院てんかんセンター コーディネーター活動報告

年度	外来患者	入院患者	相談数	相談内容
2020 年度	1354	130	9	診断関係4、治療関係4、医療機関 紹介1
2021 年度	1237	373	6	治療関係1、医療機関紹介1、自動 車運転1
2022 年度	1787	365	17	受診相談12、治療関係2、自動車 運転2、ストレス発散機関紹介1

対象者：成人てんかん患者か家族、入所先の施設職員  
相談時間：10-30分の電話相談 平均30分対応が多い

## 相談内容の詳細：

1. 主治医に関する相談：ゆっくり話が出来ない、色々聞きたいが聞きづらい 主治医を変更したい、治療に対する不信感、自立支援の診断書を書いてもらえない
2. 精査・受診希望に関する相談：てんかんかどうか調べて欲しい、発作のコントロール、他院で行っていた治療の継続、受診したほうがいいのか？
3. 仕事に関する相談：てんかんを理由に仕事を辞める書類にサインさせられた、自動車運転が出来ないと続けられない
4. 治療に関する相談：自己中断したが発作が起きたので再開したい、服薬を止めたい

## 自立支援医療制度の紹介

医療ソーシャルワーカーに制度・申請手続きの説明  
依頼件数

年度	件数
2020年度	64件
2021年度	60件
2022年度	45件

## 課題

- ▶ 人事異動
- ▶ 外来看護業務との兼務で相談時間が充分に取れない
- ▶ 関連病棟・小児科との連携が不十分
- ▶ てんかん拠点病院であることの職員認知が低い
- ▶ てんかんコーディネーター業務の認知度が低い
- ▶ コーディネーターの質の向上
- ▶ 管内医療機関以外の関係機関との連携・調整業務が出来ていない

## 学校教員向けてんかん講演会

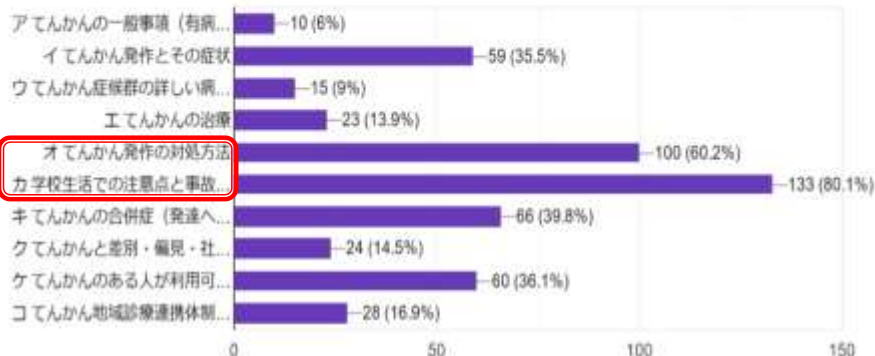
- ▶ 令和3年度 1回
  - 講演会場＋オンライン
  - 特別支援学校の教職員など**88名**が参加  
(学校看護師、スクールバス添乗員も含む)
- ▶ 令和4年度 3回(金沢地区、加賀地区、能登地区)
  - 講演会場＋オンライン
  - 特別支援学校以外に一般校の教職員なども対象

小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合計
60名	14名	21名	157名	1名	253名

# 学校教員向けてんかん講演会

Q7 今後、てんかんセミナー等で取り上げてほしい内容があれば、下のア～コの項目の中から3つ選択してください。

166件の回答



# 学校におけるてんかん支援

- ▶ 現在は小児科医が、学校からのてんかん相談、てんかん講演会、学校への巡回指導を行っている
- ▶ 小児科医は診療などで多忙であり、これ以上の学校訪問や講演回数を増やすことは難しい状況
- ▶ てんかん診療支援コーディネーターが対応可能なことは対応していく方向で検討中

## 問題を感じている事

- ▶ 自立支援申請登録病院・クリニックへ紹介した患者様が診断書を書いてもらえなかった
- ▶ 精神科との連携が充分に取れていない
- ▶ 北陸3県：富山県・福井県との連携強化が必要

## コーディネーターの要望

- ▶ 今後もオンラインでの研修形態を継続して欲しい
- ▶ 他施設コーディネーターの具体的な活動内容を知るための交流を希望します

# 浅ノ川総合病院てんかんセンター



ご清聴に深謝します。